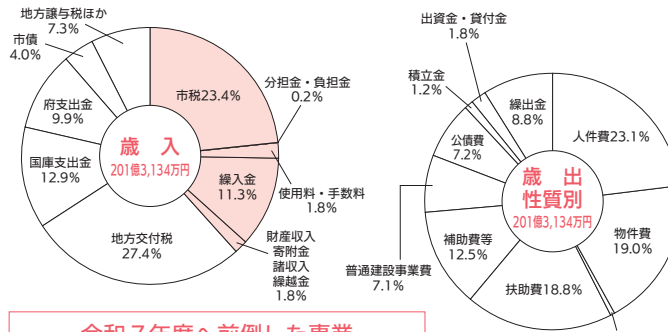


綾部のチャレンジを形に

歳入歳出の状況 (一般会計)

自主財源 38.5% 77億5,770万円
 依存財源 61.5% 123億7,364万円



令和7年度へ前倒した事業 (令和7年度3月補正予算)

戸籍事務費 (旧氏対応)	185万円
住民基本台帳等事務費 (振り仮名記載対応)	504万円
コンビニ交付事務費 (旧氏対応)	143万円
拠点避難所等資機材整備事業費	6,810万円
給水車整備事業費	2,574万円

過去2番目の規模

一般会計は、前年度比3・3割減の201億3134万円。市長が交代して間がないため、人件費や扶助費などの義務的経費と、継続事業を中心とした骨格的予算としたものの、物価の高騰や市債償還の増等により、結果として過去2番目の規模になりました。また、国の補正予算に対応し、令和8年度に予定していた拠点避難所等への資機材整備など、令和7年度3月補正予算に前倒して計上。令和8年度の実質的な予算額は、前倒し分と合わせると202億776万円(同3・2割減)です。

3月に開催された市議会定例会で、令和8年度の予算が可決されました。市の基本的な運営に必要な経費を中心に編成しつつ、「綾部チャレンジ予算」を盛り込み、子育て・教育環境の充実などに取り組みます。

市税収入は減

歳入では、賃金上昇により個人市民税が増える一方、法人市民税や固定資産税などが減り、市税は同0・2割減の47億1994万円となる見通しです。市の借金である市債は、まちづくりセンターの改修などの大規模事業が終了したことにより、8億730万円(同40・9割減)となりました。

子育て支援・教育環境を充実

歳出では、子育て支援の充実▽市民の「やる気」を生かす▽教育環境日本一を目指す▽道路・交通・観光・物流の充実の4つを「綾部チャレンジ予算」として編成。また、国の経済対策も活用し、物価高騰の影響を受ける市民生活の支援にも取り組みます。

当初予算の規模

一般会計	201億3,134万円
特別会計	88億5,559万円
公営企業会計	88億円
合計	138億1,170万円
合計	427億9,863万円

令和7年度への前倒し計上分(公営企業会計含む) 1億216万円

新規・拡充事業ピックアップ

令和8年度から始まる新規・拡充事業などを紹介します。

拡充 保育料負担の軽減 影響額909万円

保育所等の保育料を減額し、子育て世帯の経済的負担を軽減

内容
 適用時期：9月からの後期保育料算定から
 <問い合わせ>子育て支援課☎(42)7624

新規 乳児等通園支援事業費(こども誰でも通園制度) 540万円

保育者の保育要件にかかわらず、保育所等を利用できる制度をスタート

内容
 利用対象の子ども：利用時点で、生後6カ月～満3歳未満(3歳の誕生日の前々日まで)で、保育所、認定こども園、小規模保育施設等に通園していない子ども

利用可能時間：子ども1人当たり月10時間(上限)
 ※施設の使用できる時間の範囲内で、1日(1回)当たり最低1時間から利用可能
 ※未利用時間があっても翌月以降への繰り越しは不可
利用料金：子ども1人当たり1時間300円
 ※施設によっては、給食代やおやつ代等の実費を負担していただく場合があります。

申し込み方法・利用方法など詳しくは、ホームページ=QRコード=をご覧ください。



<問い合わせ>子育て支援課☎(42)7624



新規 プロジェクトチームX補助金 100万円

市の活性化に向けたアイデアを研究するチームを支援し、市民のやる気を生かしたまちづくりを推進。

5月29日(金)にキックオフ説明会を開催!

内容
 補助対象：3人以上の市民(在勤・在学含む)で組織する綾部市が認定したチーム
 補助対象経費：研究費、調査費、広報費等
 補助内容：10万円/チーム(補助率10/10)
 <問い合わせ>企画政策課☎(42)4215

拡充 学校給食費補助事業費 小学校 7,425万円 中学校 1,241万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食費に対して補助を実施。本年度から小学校の給食を無償化

内容
 補助対象：給食を実施する市内小・中学校
 補助額：【小学校】国の基準額(在籍児童数×基準額(5,200円/月)×11カ月)
 【中学校】生徒等1人につき1食当たり100円を補助 負担軽減額：約2万円/年
 <問い合わせ>学校教育課☎(42)4323

継続 タクシー運行維持確保事業費補助金 1,809万円

夜間のタクシーの運行台数を確保。また、利用者の利便性を高めるため、キャッシュレス決済システムの導入を支援

内容(運行台数確保)
 対象：4月～令和9年3月中旬の20時～24時 木・金・土曜日、祝日の前日は3台 それ以外の日は2台
 <問い合わせ>市民協働課☎(42)4248

改編前	改編後
企画政策課 企画戦略担当 連携推進担当 ふるさと納税担当	企画担当 ふるさと納税担当
総務課 行政担当 文書統計担当	行政担当
行政デジタル推進課 行政デジタル推進担当 情報システム担当	デジタル推進担当
税務課 管理担当 市民税担当 固定資産税担当	市民税担当 固定資産税担当
高齢者支援課 高齢者福祉担当 企画管理担当 介護保険担当	高齢者福祉担当 介護保険担当
観光交流課 観光振興担当 交流企画担当	観光交流担当
建設課 管理担当 国・府事業担当 土木整備担当 土木維持担当	管理担当 国・府事業担当 土木担当
上水道課 管理担当 上下水道収納担当 整備担当	管理担当 整備担当

※太字が改編対象

人事異動で新体制
市は4月1日、市役所の組織を一部改編し左表参照しするとともに、人事異動を発令しました。新体制（課長級以上）は次のとおりです。太字は新任（異動）。

市長公室 公室長（危機管理監事務取扱）**大槻伸一**▽次長（秘書広報課長事務取扱）**野間知亜紀**▽職員課長**吉崎裕美**▽防災・危機管理課長**野間義憲**

企画総務部 部長**志賀久男**▽

財務担当 部長**四方健史**▽次長（税務課長事務取扱）**余田陽一**▽企画政策課長**鎌部秀樹**▽総務課長**塩見浩一**▽行政デジタル推進課長**東勝史**▽財政課長**村上寛**

市民環境部 部長**立藤聡**▽次長（環境政策課長事務取扱）**白波瀨巧**▽人権啓発推進室長**森本修**▽市民・国保課長**浅尾則夫**▽市民協働課長**塩見由美**▽人権推進課長**白波瀨正彦**▽同課男女共同参画推進担当課長**岡坂敬子**

福祉部 部長**松原哲也**▽技監

組織と人事



定住交流部 部長**朝子直樹**▽次長（定住・地域政策課長事務取扱）**潮見雅敏**▽同課水源の里・地域振興担当課長**井上香**▽観光交流課長**出口匡史**▽文化・スポーツ振興課長**塩見敷生**

建設部 部長**野々垣政明**▽次長（都市建築課長事務取扱）**奥村宣幸**▽監理課長**菟理忠則**▽建設課長**四方和之**

会計課 会計管理者兼会計課長**市村武士**

消防本部 消防長**塩見幸作**▽次長兼消防署長**吉田好弘**▽管理

農林商工部 部長**大島順彦**▽次長（商工労政課長事務取扱）**荻野達徳**▽次長（農政課長事務取扱）**小林敏和**▽技監（林政課長事務取扱）**小松健**

健康こども部 部長**四方雅弘**▽次長（保健推進課長事務取扱）**芦田正彦**▽子育て支援課長**田中恵美**▽同課主幹（物産保育園長事務取扱）**大槻昌代**▽こども支援課長**四方和加美**▽同課主幹**中田達也**▽保健推進課保健推進担当課長**平岡佳子**

（地域包括支援課長事務取扱）**大鳥けい子**▽社会福祉課長**大槻秋夫**▽障害者支援課長**荻野聖子**▽高齢者支援課長**小松愉紀**



病院長に井伊氏
ました。

市立病院 新院長に井伊氏

4月1日、綾部市立病院（青野町）の院長に、副院長を務めていた井伊庸弘氏の写真が就任しました。また同日、新たに11人の医師が同病院に就任しました。

綾部チャレンジ予算

- ★保育料負担の軽減 影響額 909万円
- ★プロジェクトチームX補助金 100万円
- メタバース教育支援センター事業費 77万円
- メタバース（仮想）空間での教育支援センターを導入し、不登校児童・生徒の学習および自立を支援学習にむかう力・論理的思考力育成研究事業費 144万円
- 認知能力や非認知能力、論理的な思考力を育成することによる学力の向上を推進
- 綾部の学校魅力向上事業費 120万円
- 市と包括連携協定を締結している京都産業大学と連携し、市内の小・中学校の教育の特色化を推進し、学校の魅力を向上
- あやべっ子英語未来プロジェクト事業費 (小学校) 85万円 (中学校) 341万円
- 小学6年生、中学1年生にも外部検定試験を導入し、小中一貫した英語指導を充実
- ★タクシー運行維持確保事業費補助金=写真① 1,809万円

- 交通空白地有償運送事業費補助金 759万円
- 車両取得事業および運送事業に対して支援を拡充
- 野田須知山線整備事業費 7,800万円



安全・安心のまちづくり

- みんなで守る綾部の山林事業費 3,589万円
- 野生鳥獣被害総合対策事業費 3,282万円
- 住宅地等へのクマの出没に対応するため、緊急銃猟対策を実施=写真②
- 防災行政デジタル無線整備事業費 6,577万円
- 団体営ため池等整備事業費 2,020万円
- 道路整備事業費 1億2,997万円
- 橋りょう長寿命化対策事業費 1億6,250万円
- 木造住宅耐震改修費補助事業費 1,450万円
- 消防車両整備事業費 4,355万円
- 原子力災害避難ヘリポート整備事業費 1億7,000万円
- 原子力災害時に救助用のヘリコプターが離着陸するヘリポートを奥上林地区に整備

安心して子育てできるまちづくり

- ★乳児等通園支援事業費 540万円
- 年中児発達サポート事業費 111万円
- 言語の理解能力や社会性が発達する時期である5歳児を対象に健康診査を実施
- 母子予防接種事業費 6,322万円
- 豊里小学校スクールバス更新事業費 1,403万円

デジタル社会への対応やゼロカーボンシティへの取り組み

- 自治体DX推進事業費 5,192万円
- 児童館改修事業費（空調、照明LED化） 1,396万円
- 住宅用太陽光発電システム等設置補助事業費 360万円
- し尿等汚水処理効率化事業費 2,560万円

ジェンダー平等や多文化共生など多様な社会への対応

- 自治会女性活躍促進事業費 11万円
- 国際交流事業費 102万円

物価高騰への対応

- 保育所等副食費支援事業費 878万円
- ★学校給食費補助事業費=写真③ (小学校) 7,425万円 (中学校) 1,241万円



その他の事業

- 創業・事業承継支援事業費 778万円
- 高倉公園テニスコート改修事業費=写真④ 1億8,459万円
- 黒谷和紙拠点施設整備事業費 7,175万円

★は再掲

令和7年度文化・スポーツ賞 初の特別優秀賞を贈呈

市は3月7日、あやべ・日東精工アリーナ（市民センター、西町三丁目）で、文化やスポーツの分野で優秀な成績を収めた19人と2団体を表彰。本年度は、国際大会で入賞した植夏実さんと、制度創設以来初めてとなる特別優秀スポーツ賞を贈りました。被表彰者は次の皆さんです（敬称略、順不同、所属は表彰時）。

特別優秀スポーツ賞

植夏実（綾部高校2年）
カヌー

文化賞・個人

植原李香（京都共栄学園高校3年）
剣詩舞
大島姫花（福知山淑徳高校2年）
服飾
宮崎雄大（府立工業高校3年）
ロボット



表彰式に出席した皆さん

スポーツ賞

小林幸帆（綾部高校1年）
カヌー
岡安凛（同校3年）
同
高島円香（同）
同
前田京志郎（同校2年）
卓球
衣川弥那（綾部中学校3年）
陸上
逆瀬川琉聖（同）
ソフトテニス
湯浅翔空（同）
同
中谷琉晶（福知山成美高校1年）
同
同
原綾那（京都光華高校3年）
同
同
吉崎香奈絵（ビバーチエあやべ）
同
同
西田惣介（VC兵庫）
同
同
同
山本蒼生（同）
同
同
中村維新（少林寺拳法福知山スポーツ少年団）
同
同
田達也（車イス駅伝京都代表チーム）
同
同
石角優羽（豊里シャークス）
同
同
軟式野球

団体 綾部中学校男子ソフトテニス部
綾部ラビッツ
同
ミニバスケットボール

シリーズ 人権を考える 人権教育講演会

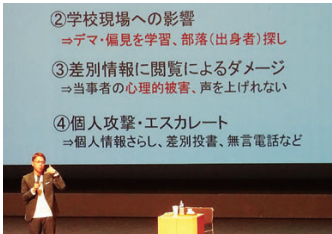
「ネット人権侵害と部落差別の現実」

山口県人権啓発センター事務局長 川口泰司さん

3月7日に中丹文化会館（里町）で開催された講演会の内容をお知らせします。

無知・無関心が差別を拡散
講演では、インターネット上にあふれる偏見や差別的な情報が、現実社会に影響を及ぼしている現状について、自身の体験を交えて語られました。

川口さんは部落問題について「過去のことなのだから『寝た子を起こすな』という声がいまだに



講演する川口さん

ある。しかし、インターネット上では、被差別部落をさらすような情報が掲載・拡散されている。『寝た子』はネットによって起こされる時代」と説明。また、「一部の差別意識を持った人だけが差別をしているのではない。差別に対して無知、無理解、無関心な人が、ネット上のデマや偏見をうのみにし、悪気のなのまま拡散していることが大きな問題」と指摘し、部落問題の学習や人権教育の重要性を訴えました。

インターネットを通じて、価値観を共有することは悪いことではありませんが、万が一間違えば自分が誰かを傷つける側になり得ます。SNSの投稿や「いいね」をする前に、一度立ち止まって「この情報は正しいのか」と、考える習慣を身に付けることが、私たちに求められています。

源ちゃんコラム



コンパクトで機動的な綾部市役所に

この春、綾部市役所では「退庁式」を行いました。22名退職されたのですが、定年退職者が0名だったこともあり、退職者の希望を受け入れて、部署ごとのお別れセレモニーにしました。退職された皆さんには新たな道でのご活躍を心から願っております。

4月には11名の新入職員を迎えました。結果的に職員数は22の11名減となりました。選挙の際の「8つのチャレンジ」でコンパクトで機動的な市役所に！と公約したように、今後も増額が予想される人件費をできるだけ抑えて市民サービスの維持向上を図るために組織や業務の効率化が避けられないと考えています。大幅な機構改革はもう少し考えてからにしますが、今年度はまず8つの担当を統合しました。各部署には「ゼロベース」での事業見直しを求めています。

講演会などの意義や効果を改めて検証し、「必要な見直しは思い切った方がいい」と指示しています。

また、業務効率化の一環で三役と全部長が毎週月曜の朝に開催していた「庁議」はやめ、月の最終金曜日の「課別協議」だけを「庁議」として残しました。案件ごとでの各部長との協議は随時行いますが、形式的なことではできるだけ廃止します。

各種会合での市長挨拶も「自分で考えるから書かなくていい」とにし、代理出席の際に市長メッセージを代読することも原則禁止しました。代読するメッセージを作成、チェックする時間を省くと共に、代理の副市長や部課長には「魂のこもった自分の言葉で、目を見て語ってほしい」と頼んでいます。

一方で、市民の皆様への対応や事業の動き出しをスピーディにするため、役所内の「決裁・権限の見直しは思い切った進めて、できるだけ部長以下の判断で仕事が進むようルール変更しています。市民の皆様が親しまれ、可愛がられ、時には頼もしさを感じさせます。そういう綾部市役所を目指します。

四方源太郎（綾部市長）

市内の全小・中学校の給食は、各学校で給食調理員が心を込めて作る自校調理方式。地域の農産物の使用や工夫を凝らした献立などで、安全・安心でおいしい給食を作っています。

あやべっ子 もぐもぐ 通信

スタミナ満点「チャーハン風豚キムチ丼」

あったか具だくさん「ワンタン風スープ」

3月13日(金)

この日の綾部小学校の給食は、卒業を迎える6年生が考案したメニュー。「中華たっぷり」「健康食」をテーマに2品が並びました。「チャーハン風豚キムチ丼」は、豚肉とキムチのゴールデンコンビで食べ応え抜群！「ワンタン風スープ」には、ワンタンやたっぷりの野菜を入れ、栄養バランスに配慮しました。子どもの声を献立に反映できるのも、自校調理給食の良いところです。
※各学校の実情に応じてメニューをアレンジしています。

資料館だより

資料館報『綾部落』を発行

綾部落に関する研究成果をまとめた本格的な通史です。同藩成立から維新後の綾部県廃県までを章立てし▽藩の成立▽歴代藩主の概要▽藩政の展開▽九鬼隆都が実施した藩政改革▽幕末の動向一などを盛り込みました。

価格 1,000円（税込み）

購入方法

窓口 社会教育課、資料館で購入（現金のみ）
メール、ファクス、
郵送 郵便のいずれかで社会教育課へ申し込み

閲覧場所

市役所行政情報コーナー、資料館、図書館。図書館では貸し出しもしています。

A4判、130ページ
全編カラー印刷

<問い合わせ>
社会教育課 ☎(42)4328 📠(42)4406
shakaikyoku@city.ayabe.lg.jp